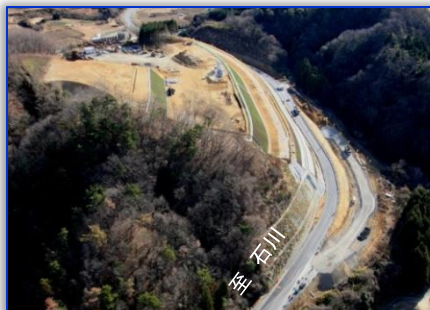


# いわき石川線 大規模地すべり災害復旧工事 最新情報

## 1. グラウンドアンカー工の完了本数が370本を超えました！（上釜戸工区）

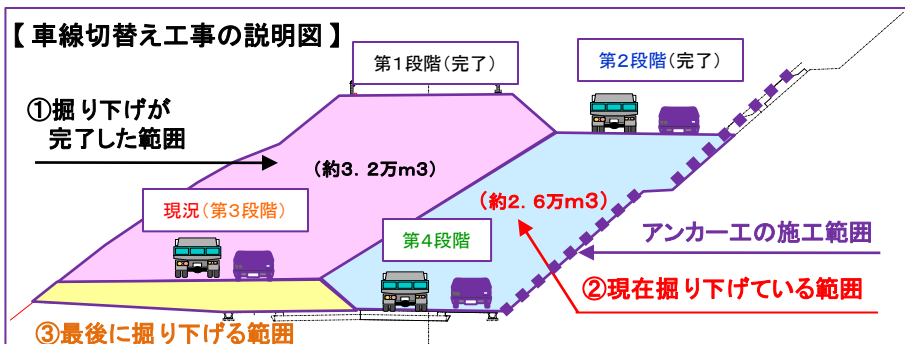
現在、「第4段階」へ移行するための仮道工（説明図内②の範囲）の掘り下げ 工事と法面補強工事（グラウンドアンカー工）を行っておりますが、2月末で全体本数575本のうち374本（約65%）が完了する見込みです。また、2月末までに全体数量約19万m<sup>3</sup>のうち約17万m<sup>3</sup>の土砂除去を完了させ小名浜港へ運搬し、土運船で東港に海上運搬する予定です。



施工状況：「第2段階」の仮道工を使用（平成24年12月末）



施工状況：「第3段階」の仮道工を使用（平成25年2月末）



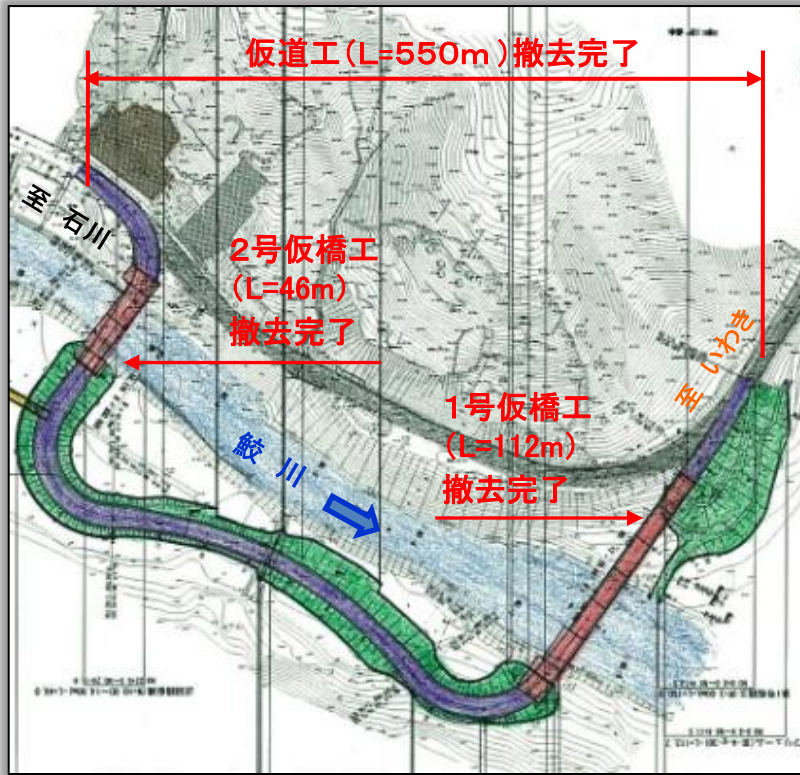
終点側

中間点

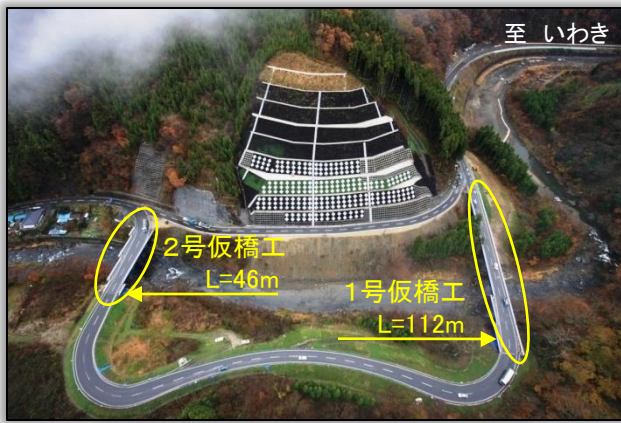
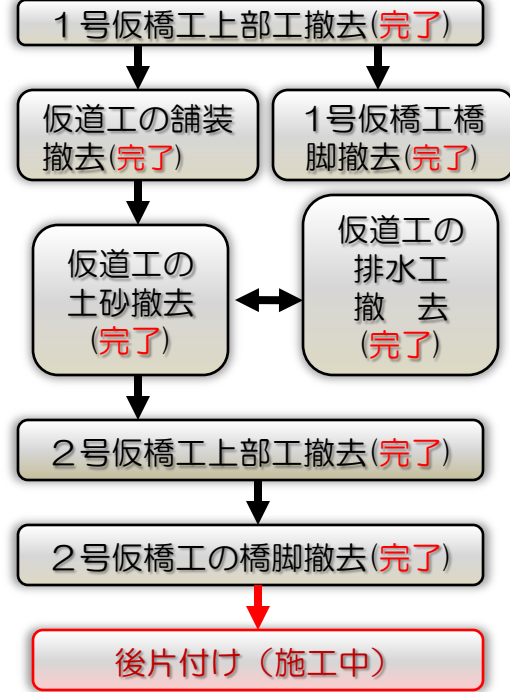
起点側

## 2. 仮道工全体の撤去工事が完了しました！（才鉢工区）

本線を再開通させた翌日（12月15日）から仮道工（L=550m）の撤去工事に着手しておりましたが、1月24日に1号仮橋工（L=112m）、2月23日に2号仮橋工（L=46m）の撤去が完了し、仮道工全体の撤去工事が完了しました。



### 仮道工撤去フロー図



仮道工撤去前（H24年12月）



仮道工撤去完了（H25年2月）



仮道工撤去開始  
（H24年12月）



・標準工事日数：285日

・実施工事日数：71日

・工期短縮率：約75%

仮道工撤去完了  
（H25年2月）

### 3. 「栃木県建設技術協会」の現地視察会が開催されました。

1月31日に「上釜戸工区」において、栃木県建設技術協会の技術者の皆様約20名が参加して現地視察会が開催されました。現在、当事務所には栃木県から2名（大森主任主査・渡邊技師）の優秀な技術者を1年間派遣していただいております。十分な視察時間を確保していただけたことから、家族と離れ福島県の災害復旧業務に日夜貢献していただいているお二人への恩返しのためで大規模地すべり災害の概要や災害発生時から現在までの工事経過などの詳細を丁寧に説明させていただきました。このような機会を設けていただきました宇都宮土木事務所の皆様に感謝申し上げます。



被災状況説明（渡邊主任主査）



工事経過説明（中濱主査）



受圧板の設置状況



グラウトアツカ-施工状況

### 4. 「南会津建設事務所」の現地視察会が開催されました。

南会津建設事務所には栃木県から宮田主任主査と荒畑副主査が1年の任期で派遣され、「新潟・福島豪雨災害」の復旧業務等を行っていただいておりますが、同事務所の井戸川事業部長が引率されて両名の現場研修を兼ねた視察会が2月20日に上釜戸工区と才鉢工区において開催されました。（説明者：渡邊主任主査、熊坂技師）



## 5. 「いわきサンシャインマラソン」を盛り上げました。

上釜戸工区と才鉢工区から小名浜港へ土砂を運搬している道路の一部区間が「いわきサンシャインマラソン」のコースにもなっていることから、マラソンに参加する皆様に気持ち良く走っていただけるようにとの願いと、日頃道路を使用させていただいているという感謝の気持ちを込めて、各企業体で働いているダンプトラックの運転手の皆さん達が2月7日に清掃活動を行いました。また、マラソンにはいわき建設事務所の宮崎所長を始め、復旧・復興課から中濱主査（上釜戸工区監督員）・熊坂技師（才鉢工区監督員）・大森主任主査（栃木県の応援職員）も参加し、見事に完走しました。



上釜戸工区と才鉢工区各JVの皆さんによる清掃活動の状況



フルマラソンのスタート風景



宮崎所長（フルマラソン）



中濱主査（親子の部）

## 6. 「東日本大震災復旧・復興に関する業務発表会」で最優秀賞を受賞！

2月13日に福島市の県文化センターを会場に、福島県土木部・福島県建設技術協会主催の業務発表会が開催され、中濱主査が「全国的に類を見ない大規模地すべり災害に挑む！」と題して上釜戸工区の発表を行いました。県内各地から総勢23名の技術者が発表し、審査の結果中濱主査が最優秀賞を受賞しました。



発表の状況（中濱主査）



表彰式（渡辺土木部長）



表彰式（浦山審査委員長）

### 【事務担当】

復旧・復興課 道路・橋梁復旧担当 主任主査 渡邊 敦宏 電話：0246(35)6075